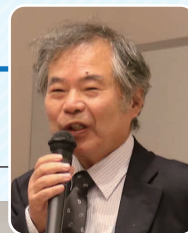


社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

NPO法人 CODE海外災害援助市民センター(兵庫地区)
《国際協力・被災地支援》

代表理事 室崎 益輝



私たちCODEは、1995年の阪神・淡路大震災を機に設立されたNGOです。震災の時、世界約70の国と地域からご支援をいただいたお返しに被災地KOBEから世界へ支援を開始しました。これまでアジアや中南米を中心に38の国と地域で、現地のの人たちと共に住宅再建や雇用創出など69回の復興支援活動を行ってきました。

近年は、自然災害だけでなく新型コロナウイルス感染症による困窮者、アフガニスタンやウクライナ戦争による難民、避難民の支援も行っています。

トルコ・シリア地震(2023/2/6)では、直後よりスタッフを現地に派遣し、救援物資の配布や被災地KOBEの子どもたちのメッセージを届け、現地のNGOやボランティアとの状況共有会議の開催、中学校での防災授業の実施などを行ってきました。また、メイン事業として現地のNGOと連携して被災地の3か所で「子どもと家族のケアセンター」を建設・運営しています。



近畿ろうきんさんとは、トルコと日本をオンラインでつなぎ、「トルコ・シリア地震報告会 被災地のいま」を関西NGO協議会と共に開催しました。

近畿ろうきんさんとは、トルコと日本をオンラインでつなぎ、「トルコ・シリア地震報告会 被災地のいま」を関西NGO協議会と共に開催しました。

一般財団法人 あしなが育英会(兵庫地区)
《災害・病気等の遺児支援》

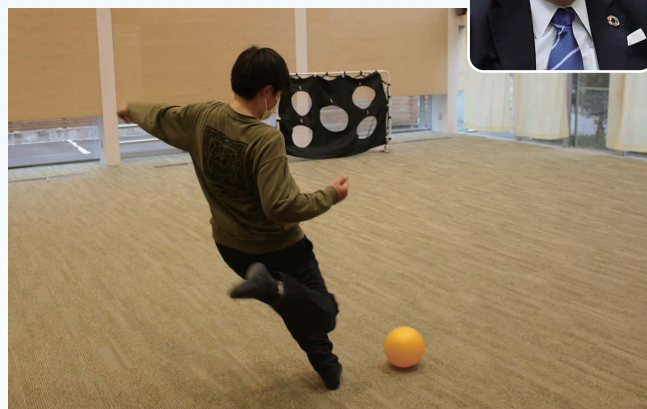
会長 玉井 義臣



災害、病気、自死などで親を亡くした子ども、親が重度後遺障がい働けない家庭の子どもを、物心両面で支える活動に国内外で取り組んでいます。「笑顔プラス」でのご支援に深く感謝申し上げます。

阪神・淡路大震災をきっかけに「神戸レインボーハウス」で始めた遺児支援の「心のケア」活動は、2006年に東京へ、さらには東北へと広がりました。仙台・石巻・陸前高田の「東北レインボーハウス」では、約2千人の東日本大震災遺児を継続的に支援してきました。

「東北レインボーハウス」では、コロナ禍前と同様に、遺児とその家族への心のケアプログラムを実施できるようになっています。小学生たちの声が響き渡る一方、すでに成人した遺児が家族を連れて来館するなど、震災から13年が経ち、そ



それぞれのライフスタイルの変化もあります。「レインボーハウス」がいつでも戻ってくることのできる安全・安心な場であり続けられるよう、これからも遺児たちに寄り添い続けます。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
 ※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。